

令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	やまがた たくや	
氏名	山形 巧哉	
所属・役職	合同会社山形巧哉デザイン事務所 一般社団法人コード・フォー・ジャパン デジタル庁 オープンデータ伝道師	
活動拠点	北海道森町	
略歴	1998年、地元高校を卒業後、森町役場へ一般職採用。 2003年に異動により ICT 担当となり、実務でネットワーク設計や構築、自治業務の電子化に関することを学ぶ。 2012年公立はこだて未来大学との共同研究をきっかけに LOD やオープンデータに関する取り組みをはじめ。加えて、自治体におけるパブリッククラウドの本格運用を開始。 2014年には北海道森町を中心に活動するコミュニティ「ハウモリ」の運営を開始。ハウモリとしては、経済産業省 地方版 IoT 推進ラボである「モリラボ」の運営事務局も務める。 2020年北海道新型コロナウイルスまとめサイト「JUST 道 IT」の立ち上げに関わる。 2021年 森町を退職し、現職。	
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模自治体でのパブリッククラウド活用 ●小規模自治体でのオープンデータ施策や活用法 ●庁内・町内ネットワークの構築やアイデア ●教育システム（教育系・校務系）のクラウド構築 ●その他地域での ICT 活用全般 	
専門分野	オープンデータ 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム 教育情報化/情報教育 働き方 テレワーク	
自治体向けメッセージ	自治体規模や地域により、持っている問題や、それを解決するためのアプローチはすべてが異なります。 このため、私たちが持つノウハウが必ずしも参考になるとは限りませんが、私たちが経験した課題や解決へのプロセスをお伝えすることで、みなさまの「気付き」や「解決の糸口」発見のお手伝いできればと思います。	
関連サイト	https://yamagata.pro	

地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体でのパブリッククラウドの業務活用やシンククライアント活用 ・市内ネットワークの構築や更新 ・町内ブロードバンド環境整備（工事管理・協議会設立・普及促進） ・行政 WEB サイトの構築 ・歴史資産活用に係るオープンデータの重要性とその活用方法としてのウィキ町史プロジェクト ・ひぐまっぷ-ICT を活用したヒグマ出没情報収集と共有の取り組み（ICT 地域活性化大賞 2017 優秀賞） ・災害時における自治体 SNS の活用とその有効性（JASMIN 広報誌へ寄稿） ・記録の記憶-地域の写真アーカイブ活動（2016FOSS4G TOKYO 特別セッション「アーカイブ xFOSS4G」講演・2016 マッシュアップアワードシビックテック部門決勝進出・2017LOD チャレンジパートナー賞受賞） ・ウィキ町史-デジタル町史のあたらしい活用（2014LOD チャレンジアイディア部門最優秀賞） ・オガルコ-学校給食献立アプリ（現在は LINEbot）（2016 アーバンデータチャレンジアプリ部門銀賞受賞） ・AKIJIKAN-公共クラウドを利用した観光地紹介アプリ（2016 総務省公共クラウドアプリコンテスト優勝）
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<p>2016 年経済産業省 行政分野のデジタルファースト推進研究会委員</p> <p>2017 年内閣官房 自治体サブワーキンググループ委員</p> <p>2018 年総務省 地域情報化アドバイザー</p> <p>2018 年総務省 課題解決型自治体データ庁内活用支援事業有識者</p> <p>2018 年総務省 オープンデータ地域メンター</p> <p>2018 年経済産業省 新公共サービス研究会委員</p> <p>2018 年 VLED データ運用検討分科会</p> <p>2019 年内閣官房 オープンデータ伝道師</p> <p>2019 年総務省 自治体システムデータ標準連携検討会構成員</p> <p>2020 年内閣官房 データ活用サイクル検討会</p> <p>2021 年北海道 デジタル人材育成・確保ワーキンググループ構成員</p> <p>2021 年デジタル庁 トータルデザイン実現に向けた自治体タスクフォース構成員</p>